



か ん ご

れんめい大分

平成23年9月1日発行

第47号

大分県看護連盟メールアドレス

E-mail: oita-kanren@extra.ocn.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.renmei-oita.com/>

発行所：大分県看護連盟 大分市豊饒310番地の4 大分県看護研修会館 TEL 097-574-7088
発行人：安東 和代 編集者：広報委員会 印刷所：(株)インタープリント TEL 097-568-8123



東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、
1日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

くじゅう花公園(大分県久住高原)



「大分県看護連盟通常総会」参議院議員 高階恵美子先生

国会議員になり初めての講演で震災への取り組みを語って頂きました。



「大分県看護研修会館」

平成23年3月26日に落成式を迎え、4月1日より新会館で活動を開始しています。

もくじ

「れんめい大分」47号によせて ~ごあいさつ~	2 P
退任役員挨拶	4 P
新役員挨拶	5 P
新支部長の紹介	6 P
平成23年度 日本看護連盟通常総会	7 P
平成23年度 大分県看護連盟通常総会	7 P
現場の声を聞かせてください ベッドサイドから政治を変える!	8 P
若手会員委員会について	9 P

大分県看護連盟
会員数

(平成23年8月現在)

連盟会員 / 3,303名

賛助会員 / 54名



「れんめい大分」47号によせて ごあいさつ



大分県看護連盟会長

安東 和代

3月11日に発生しました東日本大震災からの復旧・復興のために、諸々の対策がとられておりますが、まだまだ不十分な様子が伝えられております。

被災されました皆さまに、心からお見舞いを申し上げます共に、一日も早い復興を願っております。

会員の方々をはじめ皆さま方には、日頃より看護連盟へ力強いご支援・ご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

平成23年度の大分県看護連盟通常総会を7月9日に開催し、提出議案のすべてを承認していただきました。ありがとうございました。

重点目標 確かな政策実現力を持つ 強力な集票力を持つ 多くの人材提供力を持つ を基に、活動を進めていきたいと思っております。

新会長に選任された坂本すが日本看護協会会長は、本年度の日本看護連盟通常総会で、「日本看護協会の政策実現のため、政治活動を担う日本看護連盟とは、共通の目的に向かってまさに一丸となって共働すべき関係だと思います。」と、あいさつされました。

“看護協会と看護連盟の関係は、看護協会の政策実現のために活動する協会の集まりが看護連盟”という原点に戻り、会員一人ひとりが自ら考え判断し、行動できる、自律した組織を目指して、組織力、集票力、人材力を強めていきたいと思います。

今後共、何卒よろしく願い申し上げます。



日本看護連盟会長

清水嘉与子

福島原発の事故を受けて、7月1日から東電管内で始まった節電の波が全国に拡大しつつあります。薄暗い街中や駅構内にも慣れてきましたが、連日の暑さ、熱中症対策のためにも行き過ぎた節電はしないように注意しましょう。

東日本大震災から早くも5ヶ月というのに被害の全容もまだわからず、福島原発事故の終息もまだ見えてきません。こんな中で引退を表明したはずの菅総理の行動をめぐって国会が何時までもせめぎあっているのは困ったものですが、看護連盟としては今後の政治情勢に目を配りつつ、超高齢社会を迎えるわが国で、看護職が専門職として貢献できる看護政策実現のために、国政の場へ看護の代表を送るという活動を引き続き進めなければなりません。

幸い日本看護協会の新会長に就任された坂本すが会長も、看護政策実現のために看護職代表の役割の重要なこと、そのためにも看護連盟との協力関係の絆を強めなければならないことを述べておられ、協会・連盟関係は新しい時代に入りました。

次期参議院選挙は議員定数の見直しなどこれまで以上に当選のハードルが厳しくなることが予想されていますが、必ず成功させることを目指し、日本看護連盟は今年は支部組織づくりを連盟の重点目標にかかげて活動を展開します。

大分県看護連盟におかれても安東会長を中心にさらなるご活躍をされますよう期待しております。





参議院議員

高階 恵美子

311に発生した平成の国難は今だ進行中です。この間、看護職の皆様には過酷な惨状にひるむことなく、また苛酷な業務にも労苦をいとわず、日々たゆまぬ努力でご支援を続けていただいております。みなさまの深い思いやりと真摯な活動姿勢に、衷心より感謝を申し上げます。

さて、「ひとの生きる力を守る 看護のパワーを 社会の生きる力を創り出す 政治へと活かす」第一歩を踏み出した日から早や一年が経ち、二年目がスタートしました。

参議院議員としての最初の一年を振り返ってみますと、初めて臨む臨時国会では自らの歳費を削減する法案を決議し、続く厚生労働委員会の初質問では看護界の現在・過去・未来に共通する構造的な課題を明示し、次代に対応できる新たな社会保障体系を構築する政策の立案を急ぐよう提案しました。

同時に党では、女性局長代理として全国約39万人に及び自民党女性たちの意見を集約して組織の活性化を図る任務にあたっています。年明け3月4日には、厚生労働部会と同部会看護問題小委員会合同による「穏やかな最期を保証するコミュニティづくり」に関する中間報告をとりまとめました。さらに看護職の先輩たち仲間たちが長年培ってきた看護問題対策議員連盟(看護連)については、会員拡大を図り、同僚議員等とともに各地の看護の現場へお邪魔してご意見を頂戴するなど、実際の業務を見て解決策を考えていただく活動も始めました。

人々の健康的な暮らしを実現するために必要な看護職だからこそ言えること、やらねばならないことが山積しています。大震災の残痕から、愛する故郷日本の暮らしを取り戻す戦い。また、この時代に生きる私たちに与えられた試練の一つと受け止めています。

みなさまとともに、我らが行く先をしっかりと見据えて、地に足の着いた活動を心がけて参ります。



衆議院議員

あべ 俊子

東日本大震災で被災された皆様、犠牲になられた皆様に、心からのお見舞いとお悔やみを申し上げます。まだまだ厳しい生活を余儀なくされている方も多くいと聞き及びます。一日も早く安定した暮らしを安心して送っていただけるよう私も国政の場で精一杯取り組む毎日です。

今回の震災では、想定外の未曾有の被害に行政が混乱する中、全国の看護職から寄せられた被災地域の詳細な情報がどれほど大きな力になったか計り知れません。また、全国の看護連盟が支援先の被災県を分担して、多くの心温まる必要物資やメッセージを被災地へ寄せて下さっていることにも心から感謝いたしております。私はあらためて看護職の皆さんの全国規模のネットワークの大きさ、そして仲間を思い、人を思う思いやりの深さに心を打たれています。

現在、国会では会期が延長されており、震災対策関連の法案の成立を進めながら、一日も早い復興に向けてあらゆる力を集結して臨まねばならない状況となっています。この連盟だよりが皆様のお手元に届く頃には、復興へ向けての具体的な施策が着実に進められていることを心から願うばかりです。

そして、いつも献身的で努力を惜しまない看護職の皆さんにこそ日本が元気になる鍵があると、私は大いに期待をしております。どうかみなで力を合わせて、この国難を乗り越えていけるよう共に頑張ってまいりましょう。

がんばろう日本、必ず復興します!



大分県看護協会会長

松原 啓子

看護協会長としての抱負

昨年の選挙で当選された「たかがい恵美子」氏は、この一年間国会で看護の代表として、看護界のために精力的に活動されています。特に3月11日の大震災の際は、直後から現地へ赴き、被災者の皆様のために不眠不休で復興支援に尽力されたことは、皆さまご存じのことと思います。

さて、大分県看護協会は、新会館に移転し、人々の健康にかかわる医療・保健・福祉のすべての分野において、県民に信頼される職能団体として公益性の高い事業を展開しています。なかでも研修事業を強化し、看護の質向上にむけての体制強化を図りました。

また看護職の職場環境に関しては、厚生労働省が看護職の労働問題の改善に向けて本腰を入れて取り組むことになりました。今年度は県下の医療現場の労働問題の解決に向けて、事業をさらに強化して取り組みたいと思います。



退任役員挨拶



前第一副会長
板屋文恵

本年度大分県看護連盟総会で、3期9年の任期満了により第一副会長を交代いたしました。永瀬顧問、安東会長の強力なリーダーシップ、役員諸姉をはじめ、会員皆様の看護への熱い思いを秘めた連盟活動は、前向きで常に楽しい雰囲気の日々でした。

これまでのご支援に心より感謝申し上げますと共に、皆様のご健勝とこれから“看護は一つ”を旨に更なるご活躍を祈念申し上げます。



前幹事長
糸永和代

平成14年から3期9年間務めた幹事長職を退任いたしました。連盟と政治=選挙を会員に意識づけることに努力してまいりました。南野知恵子先生の3期目の当選と第22回参議院議員選挙で「高階恵美子さん」が上位当選できたことは、大きな喜びでした。その陰で大分県の誇る看護界の重鎮故有田幸子さんの姿が重なりました。

あっという間の9年間でしたが、連盟活動に携わることができ大変幸せに思います。これもひとえに多くの先輩諸姉や、役員、会員の皆様方のご支援ご協力のお蔭と心から感謝いたします。



前幹事
畔津孝子

尊敬する永瀬顧問のお誘いで、役員仲間入りをしていただき、いつの間にか9年経ちました。看護の歴史や現状から看護の代表を国政に送る必要性が身に付き、その達成に力を注いだと思っています。9年の間に3度の国政選挙があり、楽しい思い出も多かったです。第20回南野先生の選挙の際、河向監事振付の「南野音頭」を全員で踊り盛り上げました。運動は、旧知を温める出会いもあり、自身の日常に潤いをもたらしました。

皆様お世話になりました。ありがとうございました。



前幹事
河野栄子

9年間幹事を務めさせて頂き有り難うございました。これも大分県看護連盟会長をはじめ、役員の皆様方、会員の皆様方のご協力ご支援があったからと心より感謝致します。看護連盟はベッドサイドの声を国政に送り、課題を解決するには看護職代表の国会議員が必要です。お陰様で昨年は会員の皆様が一丸となり必死の思いで“看護が一つ”になった結果、高階恵美子議員を高得点で当選させることができ、本当に嬉しく涙が出ました。この気持ちは一生忘れないと思います。今後は、別府地区支部長として活動させて頂きますので、引き続きご協力ご支援をよろしくお願い致します。



前幹事
奥浜ふじえ

役員をさせて頂いたことで、看護職にとって連盟は重要な役割を担っていることを再認識することができました。協会の目標を達成させる為には、看護職の代表を政治の場に送り、私たちの声を届けていただくことです。その為に連盟が政治活動を担っています。会員一人ひとりが自覚して得票行動をすることが重要だと感じました。微力な私でしたが、皆様に支えられたことに感謝いたします。

今後は一会員として役割を果たしていきたいと思っております。



前支部長
宮崎豊子
(大分南部地区支部)

「毎日が日曜日」の生活を夢みていた頃、安東会長に声をかけられました。新支部の支部長の役を頂き、相棒の江藤幹事長と手探りの活動を始めました。

役員会ではナース人生の指標としていた永瀬顧問を初め、偉大な先輩たちより施設訪問・基礎研修のノウハウについて学びました。「実行」は看護管理者と支部役員。「語りべ」として温かく迎えてくださいました。～たかがい選挙勝利の瞬間は「幸せ人生」に陶醉～連盟活動は地味な仕事で報われない事もありますが、みんな明るく楽しく取り組みました。心残りはございますが、三年間育てて頂きありがとうございました。



前支部長
古賀 ゆかり
(玖珠・日田地区支部)

平成17年のリフォーム連盟から支部長として活動してまいりました。知らないことが多く戸惑うばかりでしたが、永瀬顧問や安東会長、役員・支部長の皆様から色々なことを教えていただき、活動を続けることができました。6年間に明暗を分けた2回の選挙を経験し、看護職を取り巻く厳しい環境を少しでも改善していくには、我々の代表を国政に送り続けることがいかに大切かを実感しました。この貴重な経験を活かし、これからも臨床現場から生の声を届けたいと思います。ご支援・ご協力いただき誠にありがとうございました。



前支部長
加藤 ふみ子
(由布地区支部)

由布地区支部長を1期3年務めさせていただきました。由布地区の会員一人ひとりが「看護連盟」の役割を理解することから活動を開始しました。何より嬉しかったことは第22回参議院選挙でわれらが代表の「たかがい恵美子」さんを21万443票という票数を得て国政の場へ送り出すことができましたこと。安東和代会長を中心に会員が一致団結できたことはこの上ない喜びでした。これもひとえに皆様方のおかげです。ありがとうございました。今後も看護連盟を応援させていただきます。

新役員挨拶



第2副会長
高橋 多佳子

新役員としてこの度、第2副会長を拝命致しました。約3年ぶりに看護連盟の仕事を引き受けることになって、今一度看護協会と看護連盟の微妙な関係や現状について再認識しているところであります。改めて申すまでもなく連盟の第一義は看護職の代表を国政の場へ送り出すこと。前回大勝利を果たした「高階選挙」では看護職が一丸となって燃え上がりました。その残り火が連盟会員の体内には未だに燃え続けています。次なる代表を早期に擁立して再び国政の場へ送り出すことが責務であり、当面の目標であります。その時期がきたら、又「看護の火」を再燃させましょう。皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



幹事長
加藤 富美子

幹事長という大役をいただき身の引き締まる昨今です。役員さんをはじめ各支部の役員の皆様にご指導いただきながら現場の情報を共有したいと思います。看護連盟の「組織」「活動」等を理解し、大分県看護連盟の更なる組織強化のために、微力ながら尽力して行きたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。



幹事
木許 ミチ

平成23年度大分県看護連盟通常総会において、大分県の幹事に任命されました木許ミチです。昨年の第22回参議院選挙では地区幹事として高階恵美子さん当選に皆と喜びを分かち合いました。「看護は一つ」役員として精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。



幹事
山口 珠美

入職時より、連盟に加入し、数回の研修を受け連盟活動の必要性を感じるようになりました。労働条件の改善や看護教育の水準を高めるなどの看護政策を実現するためには、看護職の代表を国政の場に送りこむことは必須です。前回の選挙では皆様方の努力の結集により高階先生を無事当選させることが出来ましたが、次回の選挙では、更なる結集をしなければならぬと考えています。自職場はもちろんのこと担当地域の意識向上に向けて取り組んで行きたいと思っております。



平成23年度より12支部へ

今年度から、「OB会支部」を立ち上げ12支部になりました。連盟の活動は、支部を中心に動いています。支部活動へのご協力・ご支援をどうぞよろしくお願い致します。

大分県看護連盟 12地区支部

	地区支部	支部長	幹事長
1	国東・杵築・日出地区支部	河野 かよ子	小川 キミヨ
2	別府地区支部	河野 栄子	宮崎 加代
3	大分北部地区支部	式田 公枝	広瀬 春枝
4	大分北部第2地区支部	田辺 美智子	佐藤 嘉代子
5	大分南部地区支部	佐藤 たみ子	江藤 真弓
6	大分南部第2地区支部	古賀 孝子	畔津 孝子
7	竹田・豊後大野地区支部	加峰 マチ子	木部 眞里子
8	豊後高田・宇佐・中津地区支部	高橋 京子	円福 重美
9	玖珠・日田地区支部	赤星 秀子	室 広美
10	臼津・佐伯地区支部	高野 洋美	工藤 令子
11	由布地区支部	大久保 通子	後藤 美恵
12	OB会支部	糸 永和代	橋本 桂子

新支部長の紹介



大分南部地区支部
支部長
佐藤 たみ子

今年度より支部長の大役を仰せつかり、無事に役務が務まるか不安でいっぱいです。皆様のご指導を受けながら精一杯頑張りますのでご協力をお願い申し上げます。今、東日本大震災による原発事故で放射能による生命への危機を感じ、健康問題・生命の尊厳のことを考えさせられています。医療に携わる私たちには看護の力が要求され、発揮されていますが、私たちに今できることば何かを考えさせられています。このような状況の中、現場での若い看護師さんから労働環境や労働条件の改善等が聞かれます。こんなことを考えながら日々連盟の仕事に取り組んでいきたいと考えています。



玖珠・日田地区支部
支部長
赤星 秀子

私は地域の中核病院で、救急ユニットの看護師長と、支部長を兼務することになります。「ベッドサイドより政治を変える!」というスローガンを考えたとき、現場と政治を結び付けて考えられるよう、環境を整えながら、その輪を広げていきたいと思っております。少しでも、多くの方に連盟の活動を理解していただけるよう働きかけて参りますので、宜しくお願い致します。



由布地区支部
支部長
大久保 通子

このたび、加藤ふみ子前由布地区支部長の後任として、由布地区支部の支部長を務めさせていただくことになりました。少子高齢社会の中で、看護職を取り巻く環境は厳しく、求められる役割と責任は増すばかりです。看護問題を解決するためには連盟活動が重要です。わからない事ばかりですが、諸先輩方や由布地区544名の連盟会員の皆様のお力をお借りして連盟活動および組織強化に努めてまいりたいと思っております。ご指導の程よろしくお願い致します。



OB会支部
支部長
糸 永和代

本年度より新設されましたOB会の支部長を引き受けました。看護職のOBの方々を中心に幅広い人脈を生かしたネットワークを基に活動ができればと思っております。まずは立ち上げの会を開催し、会員の顔合わせをしたいと思っております。OB会員の方(60歳以上の個人会員の方)どうぞご支援ご協力よろしくお願い致します。

訃 報

- ・岡部 末子様 (名誉会員) 平成23年7月15日
- ・加藤ハルミ様 (竹田・豊後大野地区支部元幹事長) 平成23年7月29日

謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈りいたします。

岡部末子さんの死を悼む

貴女は、昭和35年看護連盟発足以来、若き活動家として、支部役員・支部長などの要職を歴任され、石本茂先生をはじめ歴代の参議院議員を国政に送り出すために、連盟活動の中心になって会員の士気を鼓舞し、40数年に亘り、正に身を粉にして活動を重ねた貴重な存在でした。貴女が手がけてきた業績は、いま若手会員にもしっかりと受け継がれ、力強い組織活動が展開されています。どうか安らかに眠りください。

～大分県看護連盟 顧問 永瀬フミエ～

加藤ハルミさんとの思い出に寄せて

お別れして一カ月が過ぎましたが、今でもその実感がなく、夕暮れになると電話がありそうで待っている現実には寂しい限りです。家族思いのあなたは県職を退職されて、お母さんの看病されたこと等が印象深く思い出されます。現職時代は保健師としてよく意見を交わしましたが、粘り強いあなたに脱帽する私でした。今ではすべて保健師同志の強い絆となり忘れられない生涯の思い出となりました。特に看護連盟地区支部では幹事長としての細やかな気配りで支部活動を支えて頂き役員一同感謝しています。次期は支部長にと思っている矢先の病気でその任を通うことができず無念というほかありません。あなたとの思いを共有できなくなることは悲しい限りですが、先輩や後輩の皆さんとしっかりと受け継いでいきたいと思っております。最後にこの機会を頂きました看護連盟安東会長様へ感謝申し上げます。

～竹田・豊後大野地区支部 支部長 加峰マチ子～

平成23年度 日本看護連盟通常総会

開催：平成23年6月14日(火)13:00～17:00

会場：東京プリンスホテル「鳳凰の間」
出席者数：1,580名

大分県より会長以下22名(代議員15名他一般会員)が参加しました。開会宣言後、物故会員並びに東日本大震災で亡くなられた方への黙とうが行われました。清水会長は、挨拶で3月11日の東日本大震災で、総会開催について悩んだが、被災を受けた会長さんより元気をもらい開催できた。昨年は会員の頑張りが高階さんの努力で、今までにない好成绩で当選できた。高階先生は野党ではあるが活発に活動している。今の段階では具体的な候補予定者は挙げられないが、看護連盟は看護協会の目的達成に必要な政策実現のために、看護職の代表を出し続ける作業を続けますので頑張りましょう。と述べられた。



国会見学に行ってきました



総会出席者(代議員・一般会員)

平成23年度 大分県看護連盟通常総会

開催：平成23年7月9日(土)10:00～13:00

会場：大分県看護研修会館(3F)大研修室
出席者数：2,538名
(出席者253名・委任状2,285名)

平成23年度スローガン 「ベッドサイドから政治を変える！」

～確かな政策実現力を持ち、
そして東日本大震災の復興に、
看護の力を結集しよう～



報告事項・提出議案は
すべて承認・可決されました。



平成23年度会員歴20年表彰は
45名の方が受賞されました。



今年度から、永年にわたり看護事業に
功績があり、連盟活動に貢献された
3名の方(永瀬フミエ様、岡部末子
様、故有田幸子様)を推せんし承認さ
れ、名誉会員証をお渡ししました。

特別講演

「国政報告～東日本大震災被害報告を兼ねて～」

参議院議員 高階 恵美子 先生

被災地で目の前の被災者を最後まで守り抜こうとする看護職の献身的な働きを聴き、看護職であることの誇りと力を頂きました。



募金へのご協力 ありがとうございました!!

東日本大震災で避難されている宮城県南三陸町に「東北別府温泉」別府温泉あったかプロジェクト」を立ち上げた別府青年会議所の若手有志の会に、集まった20,000円を届けました。ありがとうございました。

現場の声を聞かせてください

—— ベッドサイドから政治を変える! ——

平成23年7月9日

平成23年度大分県看護連盟通常総会にて

(アンケート回答者60名)

Q1. あなたが、日頃現場で最も問題だと感じていることを、下から3つまで選んで番号に○をして下さい。尚、17を選んだ方は()内もお選び下さい。

- | | | | |
|-----------------------------|-----|-------------------------------|----|
| 1. 給与や各種手当の支給額の低さやサービス残業が多い | 34名 | 11. 看護基礎教育期間や内容が不十分 | 3名 |
| 2. 看護要員の不足 | 35名 | 12. 卒後研修の不足や内容が不十分 | 1名 |
| 3. 過重労働・超過勤務・サービス残業 | 23名 | 13. 新人看護職の離職 | 2名 |
| 4. 医師不足 | 9名 | 14. 新人看護職の指導 | 4名 |
| 5. ワーク・ライフ・バランスの均衡 | 11名 | 15. 仕事に充実感・達成感がもてない | 7名 |
| 6. 子育て支援対策の不足 | 6名 | 16. 診療報酬・介護報酬の不適切性 | 5名 |
| 7. 家庭介護支援対策の不足 | 5名 | 17. 人間関係のストレス | 7名 |
| 8. 医療事故への不安 | 9名 | (医師：5名 患者及び家族：1名 上司：3名 部下：4名) | |
| 9. 患者から苦情や暴言・暴力 | 8名 | 18. 看護職としての職能意識の低さ | 7名 |
| 10. 過剰医療 | 1名 | 19. その他 | 0名 |

Q2. ご意見をご自由にお書きください。

もっと患者に寄り添い看護がしたい。現在は、記録に追われて時間外に何時間も記録をしている。潜在看護師教育や新人教育を行えるなど教育支援補助を行う地域コミュニティーナースセンター等があるとよい。離職の理由が多忙である。そのために看護師不足がおり多忙となる。この状況から抜け出せない。看護協会と看護連盟が対立することがなく活動がしっかりと行えるように相互の理解連携をお願いしたい。市民病院が誕生したが医師不足が課題。機器があっても医師不足のために使用できない。行政改革のもと保健師の採用はなく仕事は増える一方で本来の仕事ができない。スタッフがメンタルで病休となり、フォローできない。在宅療養中の患者に対して、毎食後10種類以上の内服薬を処方されている。実際に服用している患者はわずかである。これをなんとかしないと医療費の無駄ではないかと思う。看護職である前に一人の人間です。サービスボランティアの心はありますが休みの研修や時間外勤務が多い。有給休暇がもらえない。世の中の状況や大震災で大変厳しいのはしかたがないが、一生懸命頑張っているのに給与や手当が低く悲しくなる。2歳の子供を育児しながら働いている。今の職場は子育てに理解があり感謝している。子育てをしやすい職場がもっと増えるとういことと思う。看護要員不足は日本の医療にとって切実なものです。医師不足の陰で見えにくいところもあるが、最も改善すべきことだと思う。看護師は、どこの病院に勤めていても同じ待遇でキャリアアップのために異動できるようなシステムがあるとよいと思う。そのために看護師は、複数年ごとに資格の力量を確認する認定制度があるとよい。命を預かる看護師免許に自分達はもっと声を上げてよいと思う。公的病院などは待遇の良さで吸い寄せられる状況は中小規模の医療機関にとって慢性的な職員の不足である。高階先生にお会いできてうれしく思いました。高階先生の講演を聴き連盟の活動や必要性を改めて強く感じました。看護の現場で自分たちの行動が行政や危機管理において通用することを知り感動しました。日頃行政から軽んじられている部分もあったが、今日はとても勇気づけられ、看護という専門職を誇りに思うことができた1日であった。徐々に改善されてきていると思うが、病院での看護師の立場はまだまだ低いように感じている。患者の側に24時間いるのは看護師であるが医師の存在にはかなわない部分がある。看護師の評価はどうなのだろうかと感じる。ただし認めてもらうには自己研鑽が必要。診療報酬改定はすべて大規模病院、専門病院中心で後方病院で受け取る小規模病院は行き場のない高齢者を抱え毎日悩んでいる。看護必要度ではB点の高い患者が大部分をしめている。看護助手なくしてはやっていけません。来年の診療報酬改定に看護のケアの部分を反映してほしい。国会の生の声を聞くことにより看護から国会議員を出さないと我々は変わらないと改めて感じた。高階先生の国会での活躍は、生の声を聞けたということスタッフに伝えたい。総会に出席をして高階先生の講演を聴き、私たちのリーダーはまちがいなく高階先生であると再認識をした。スタッフにも講演内容を伝えたい。看護職であることをほこりをもちたいと思った。Q1の問題の大部分を実感しているが最終的には18に集約されるのかと思っている。日々の過重労働に職能意識を自覚するゆとりがないのが実情といえる。診療報酬に関しては、かなり問題を感じている。例えば褥瘡に関して日々のケアで0であるが、そのことの成果は評価されない。机上のプランを重視?日々忙しく多くの記録に重複する記載はできない。多くの法規に守られて勤務させていただきありがたく思っている。しかし、例えば急性期を脱した患者の転院や入院費用、書類サイン等政策の内容で行っていることも患者に理解され難く不満を訴えられることも少なくない。看護職もサービス業といわれている現在では、患者が求める高度な医療、ケア、それを行う看護師の環境不備、各病院がになう役割への理解不足で日々悩んでいる。患者のニーズを充足できるよう連盟の活動を期待したい。病棟は看護師不足が本当に深刻です。都市の病院は人員確保ができて地方の病院はぎりぎりの人数で看護を行っているのが現状。慢性的人員不足、少しでも入院患者数が減少すれば、不足している職場に手伝いと大変です。サービス残業も毎日で現場は疲労きついている。このままでは離職する人が増えてくるのではないかと...どうか政治の力で私たちを助けて欲しい!患者や家族から求められるのは充実した看護やかかわりができる時間。そのためには人員の確保がなければ、いくらサービス残業をしても追いつきません。ますます高齢化社会、日本は看護師の力が医師とともに重要視されるべきです。

皆様から寄せられた現場の声は連盟本部を通じて看護職の国会議員にも届けられ、国政に反映していただけるように活用されています。できるだけ多くの声を現場から発信していきましょう。

若手会員委員会について

若手会員委員会は平成20年に立ち上げた。連盟会員に若手の会員が多くなり平成19年度の大分県看護連盟の20～30歳代の会員比率は53.3%)若手の考えを連盟活動に入れたい、若手の看護連盟への思いを知りたい等の考えからである。

2度のポリナビワークショップを経験し活動も活発になってきた。これからの看護連盟を担うために、委員会での討議を深め、活動をより活発に展開していくことが期待されている。



若手会員委員

	支 部	施 設 名	氏 名
1	国東・杵築・日出地区	国東市民病院	鳥羽 貴久美
2	"	杵築市立山香病院	森 永 美穂
3	別府地区支部	厚生連鶴見病院	坂本 あゆみ
4	"	別府リハビリテーションセンター	野上 知 紗
5	大分北部地区	永富脳神経外科病院	曾 我 知 紀
6	"	永富脳神経外科病院	伊 藤 陽 介
7	大分北部第2地区	大分赤十字病院	安 田 真 弓
8	大分南部地区	大分医師会立アルメイダ病院	小 野 沙 織
9	"	大分医師会立アルメイダ病院	北 原 早 由 里
10	大分南部第2地区	大分県立病院	小 川 央
11	竹田・豊後大野地区	豊後大野市民病院	久 保 田 里 美
12	豊後高田・宇佐・中津地区	村上記念病院	友 松 智 美
13	"	高田中央病院	江 藤 英 里
14	玖珠・日田地区	大分県済生会日田病院	山 本 梢
15	"	大分県済生会日田病院	梅 木 宣 子
16	臼津・佐伯地区	健康保険南海病院	渡 部 あ い
17	"	西田厚徳病院	山 路 ち よ 恵
18	由布地区	湯布院厚生年金病院	秋 吉 和 恵
19	"	湯布院厚生年金病院	工 藤 三 幸



委員長 秋吉 和恵 (湯布院厚生年金病院)

4月から若手委員会の委員長を務めています。今年は日本看護連盟の通常総会に参加させていただき、看護職の代表として国政の場で奮闘しておられる阿部俊子先生・高階恵美子先生の言葉に感銘を受けました。若手委員会では、ポリナビ等の研修会を通して「なぜ看護に政治の力が必要なのか」を皆さんとともに学んでいきたいと思ひます。若手委員一同力を合わせて頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。



副委員長 坂本 あゆみ (大分県厚生連鶴見病院)

この度、若手委員会の副委員長に就任することになりました。昨年度は、看護連盟会員の皆様方のご協力を頂き、高階恵美子先生の参議院選挙当選、また若手委員会主催でのポリナビワークショップ in 湯布院を開催することができました。ポリナビワークショップでは若い会員の方々から職場での様々な悩み、看護への思いを聞くことができ、看護の力を感じました。今年度も若手の発想で連盟活動を盛り立てていきたいと思ひます。



副委員長 小川 央 (大分県立病院)

若手委員会の発足当初から関わらせていただき、今年から副委員長をさせていただきます。これまでの間、看護師の役割の多様性や可能性を見聞きする機会をいただきました。そして今、看護師の役割拡大や特定看護師(仮)の実現に向けての取り組みが行われています。私たちベッドサイドにいる看護師がその取り組みの実現に向けて何が出来るのかを皆で考え、行動していきたいと考えています。宜しくお願いします。

平成23年度日本看護連盟通常総会に出席して



大分県済生会日田病院

梅木 宣子

今回出席させていただき、自分が連盟の目的・活動、政治との関わりを知らずにいたこと、組織の一員であるということを痛感しました。現場で起きている課題の解決には、個々の努力だけでは改善は困難であり、そのために、制度改革の必要性があること、政治力が重要であることが理解できました。若手会員として、今後、連盟の目的・活動へ知識を深め、スタッフへの伝達を行い、組織の一員として貢献できるよう役割を担っていきたく思ひます。



大分県済生会日田病院

山本 梢

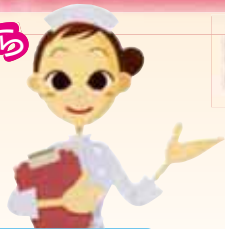
大分県看護連盟若手委員の代表として、連盟総会に出席させていただきました。1,500名以上もの出席者に緊張しましたが、「安心・安全」な医療・看護・介護が提供できるためには、政権に左右されることのない組織力・集票力・人材力の強化が必要であると実感しました。また、阿部俊子衆議院議員、高階恵美子参議院議員の情熱的な政治活動にも感動しました。今回の学びを活かし、身近な地域から活動を頑張りたいと思ひます。

研修会のお知らせ

研修会	日時	会場	内容
男性看護師研修会	平成23年9月17日(土) 16:00～17:30	大分県看護研修会館 3F「研修室4」	「男性看護師の本音とやりがい」 講師:日本看護連盟 幹事長 石田昌宏先生
リーダーセミナー	平成23年9月28日(水) 10:00～16:30	大分県看護研修会館 3F「大研修室」	「看護政策過程入門」他 講師:日本看護連盟 幹事長 石田昌宏先生
看護管理者研修会	平成23年9月29日(木) 14:00～16:00	大分県看護研修会館 2F「研修室1」	「看護管理の基礎」 講師:日本看護連盟 副会長 大島敏子先生
会員研修会	平成23年11月 (日時未定)	会場未定	「コーチングについて」(未定)

平成23年度連盟会員を募集しています!! 平成23年度
会員目標 **3,500名**

ベッドサイドから
政治を変える!



特典

連盟主催の研修会に無料で参加できます。
機関紙「アンフィニ」の配布(年3回)や
情報の配信
「れんめい大分」の配布

連盟会費 年間**7,500円**

日本看護連盟
会費 5,000円

+ 大分県看護連盟
会費 2,500円

= 年会費
7,500円

賛助会員 1,000円
学生会員 無料

詳しくはホームページを
ご覧ください。

【お問い合わせ先】大分県看護連盟

〒870 0855 大分市豊鏡310番地の4 大分県看護研修会館

TEL(097)574-7088 FAX(097)574-7517

e-mail: oita-kanren@extra.ocn.ne.jp

快適な眠りと、上質の安らぎをお届けする東洋羽毛の羽毛布団

東洋羽毛の商品は国内自社工場丁寧仕上げしています。ふっくらと温かで、優しい寝心地。品質の違いをぜひ実感して下さい。



●アフターサービスもお任せ・安心 クリーニング、リフォーム、修理、下取りなどもご相談下さい。

東洋羽毛九州販売(株)熊本営業所
TUK 7862-0913 熊本市尾ノ上1丁目7番3号 <フリーコール> **0120-382808**

確かなものを、贈りたい。 Excellent Gift

ご贈答には、丸大食品の
ハム・ソーセージの
詰合せをどうぞ。

丸大食品株式会社
九州特販営業課

福岡県糟屋郡粕屋町大字内橋673-8

TEL 092-621-2121 FAX 092-621-2122



編集後記

東日本大震災の復旧・復興が急がれる特別な夏も終わろうとしております。今年度は大幅に役員交代がありました。これまで真剣に戦ってきた選挙も高階先生の高位当選でおめでたいうちに終了しました。今は静かに力を貯える時です。今後新役員の方々と共に、次期戦いに備えましょう。

広報委員一同